

経営比較分析表（令和元年度決算）

岩手県奥州市 奥州市総合水沢病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	100床以上～200床未満	その他
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	11	-	ド透訓ガ	救感輪
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	看護配置	
116,082	16,726	第2種該当	10：1	

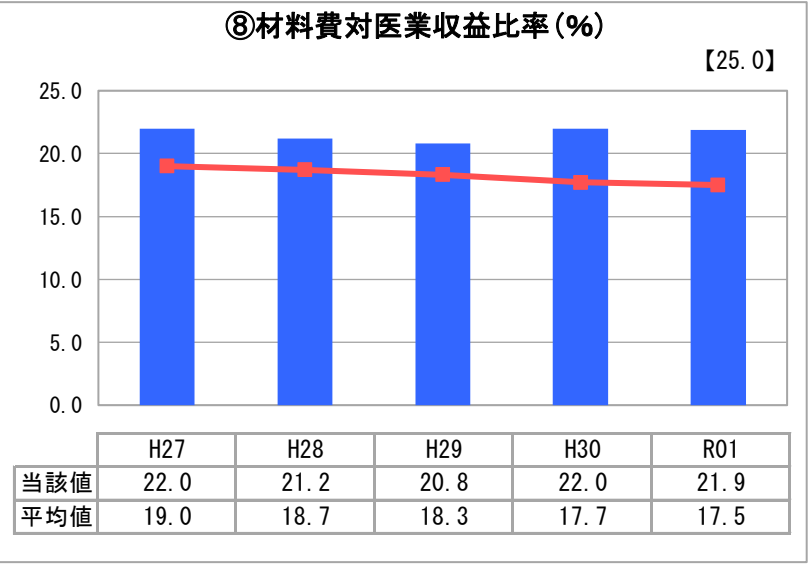
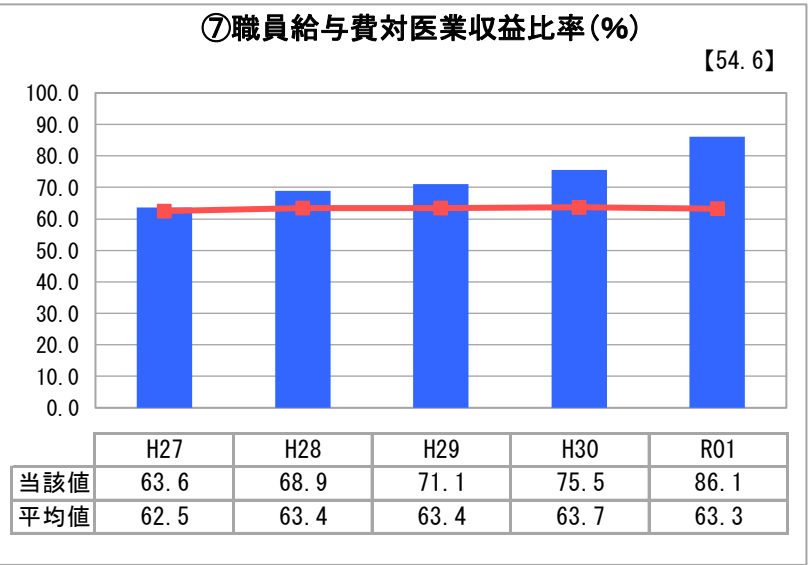
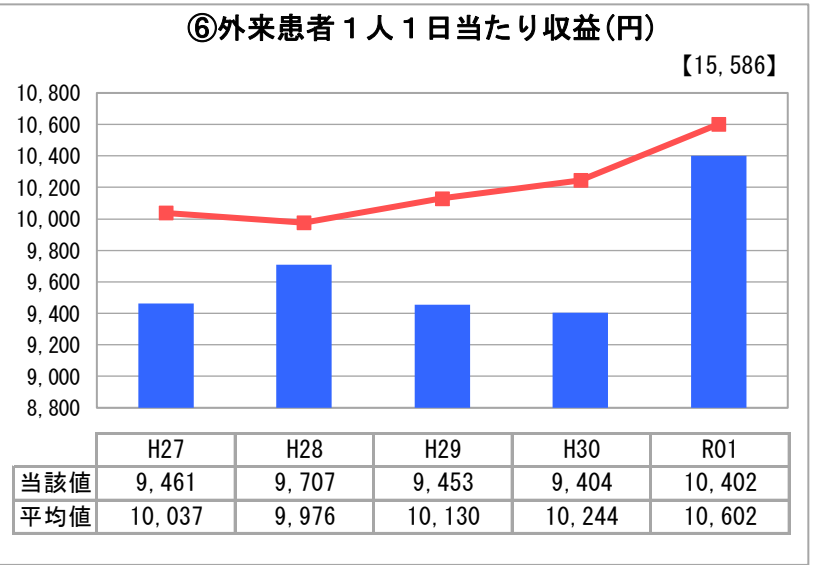
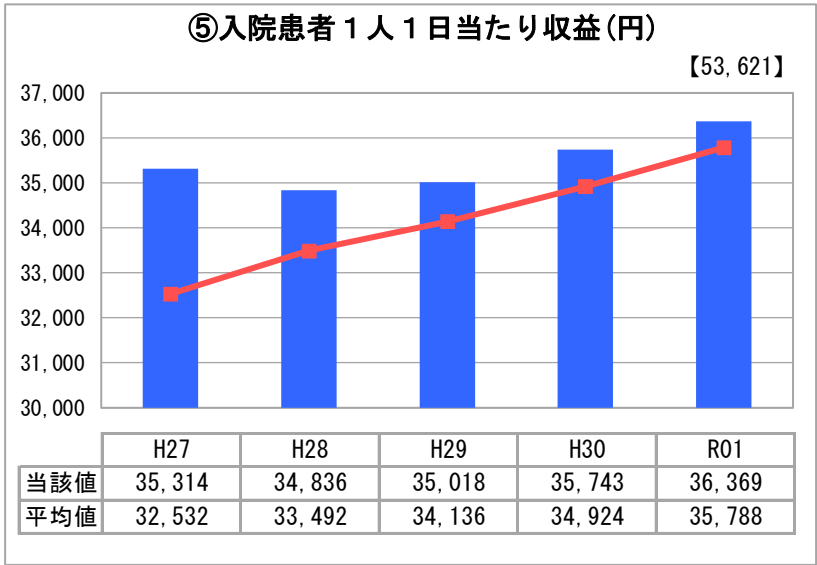
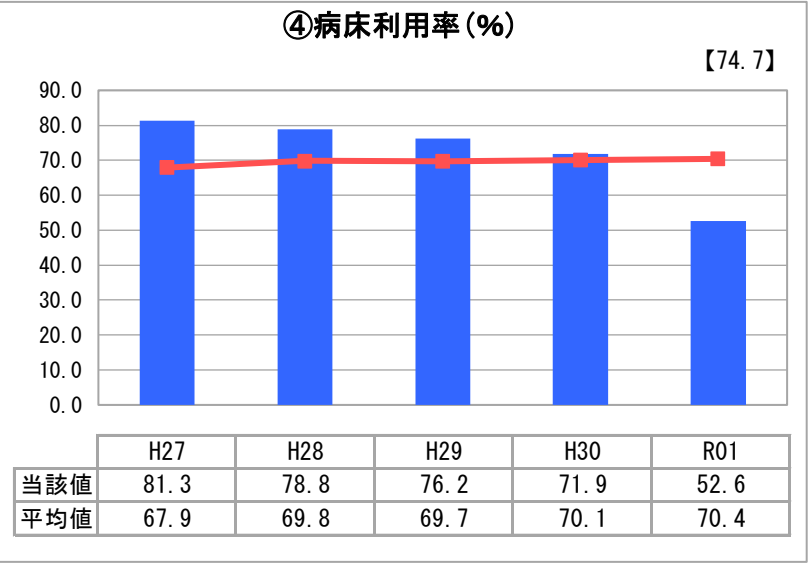
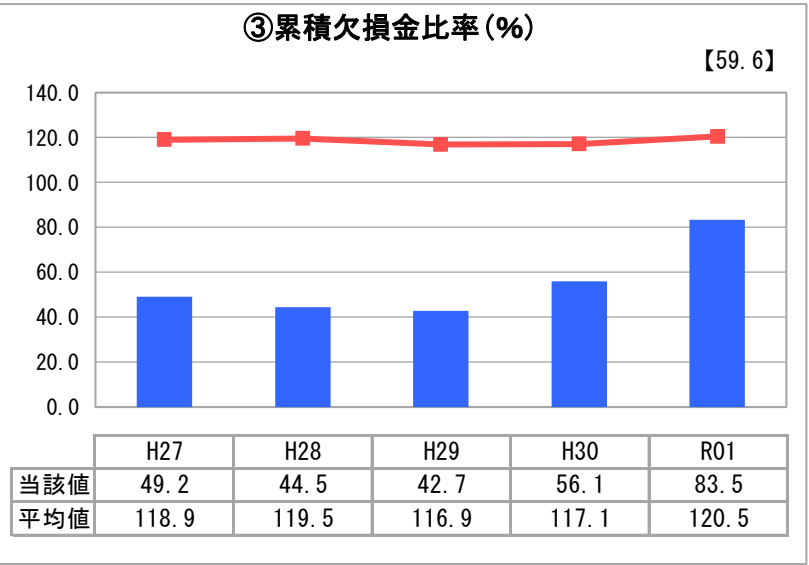
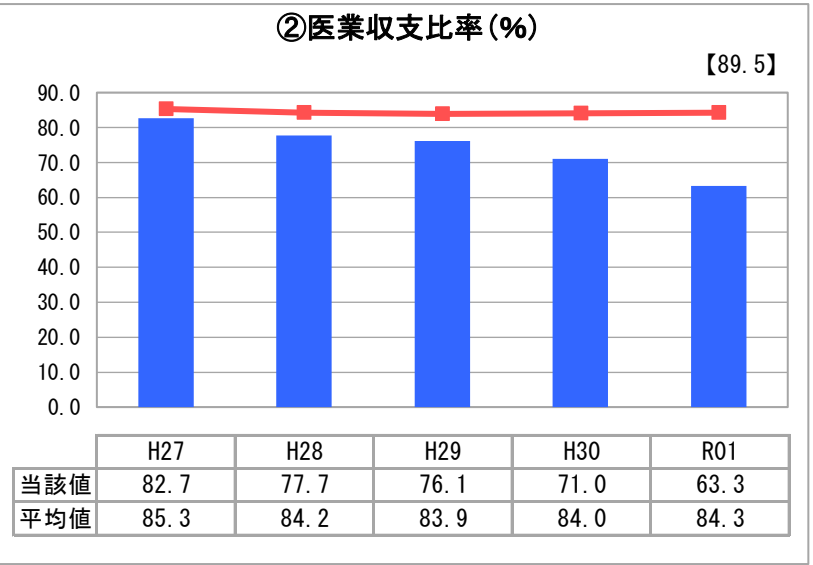
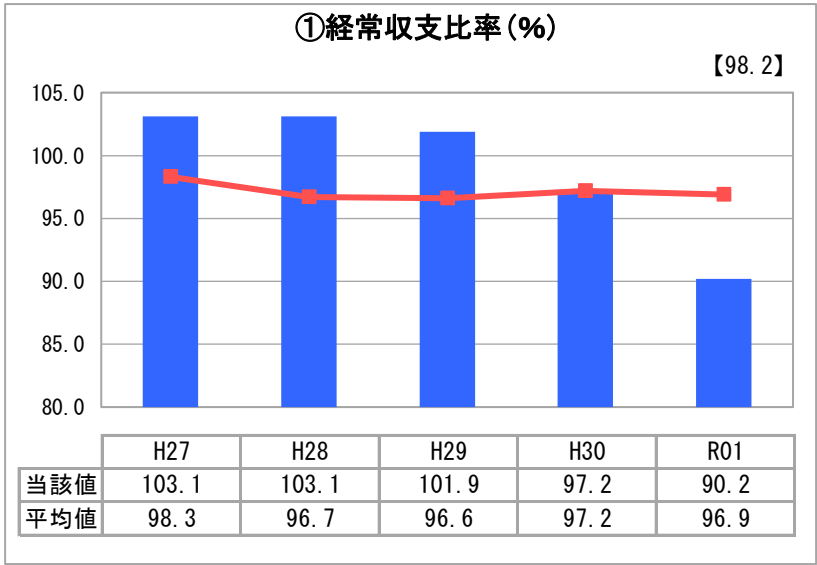
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輪…病院群輪番制病院

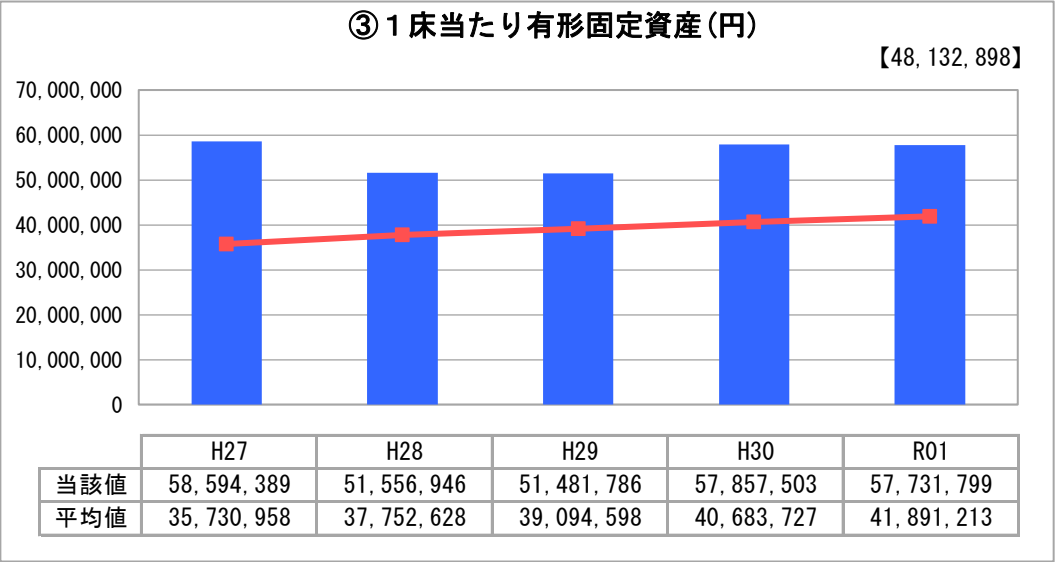
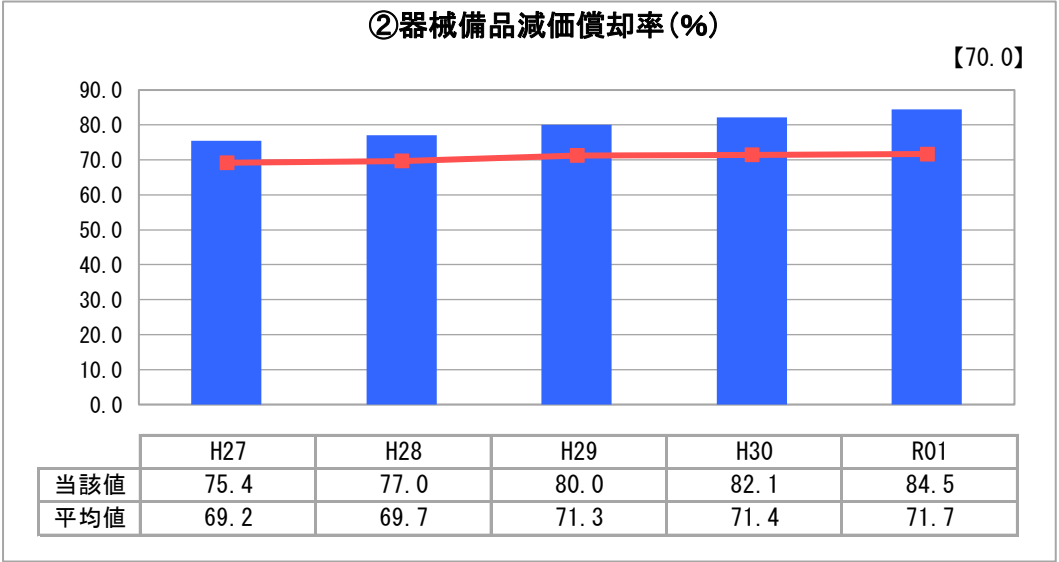
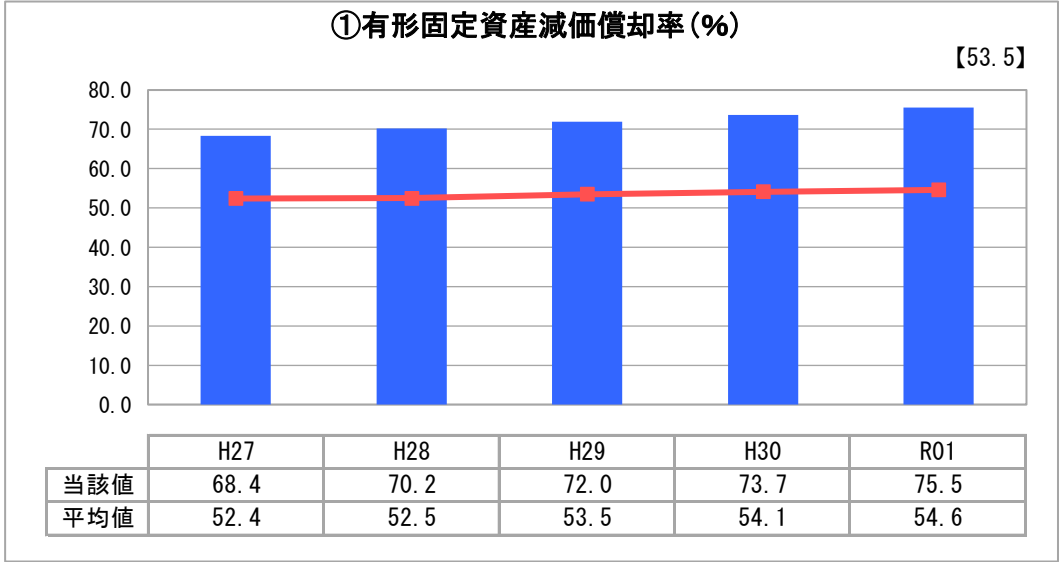
許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
145	-	-
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	4	149
稼働病床（一般）	稼働病床（療養）	稼働病床（一般＋療養）
145	-	145

■ 当該病院値（当該値）
— 類似病院平均値（平均値）
【】 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	-	-
年度	年度	年度

I 地域において担っている役割

胆江二次医療圏の二次救急医療施設として、救急患者の約2割を受け入れています。また、感染症指定医療機関として、新型コロナウイルス感染症に対し医療圏内において中心的役割を果たしています。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

平成30年度以降医師の退職が相次ぎ、平成29年度末に19人だった常勤医師数が、令和元年度末には14人となっています。それに伴い医業収益が大幅に落ち込み、職員給与費比率及び材料費比率が類似病院の数値を大きく上回り、2年連続の赤字決算となりました。入院及び外来患者の単価は、前年より増加しています。

2. 老朽化の状況について

昭和43年築の検査手術棟、昭和58年築の本館ともに老朽化が著しく、修繕費が増大している状況であり、病院改革プランにおいて新病院の建設を検討しています。

全体総括

老朽化が著しいため新病院の建設を検討しています。また、現在、病院改革プランにおいて、奥州市として必要な医療（救急、感染症対策、在宅医療等）を提供しながら、持続可能な経営ができるにはどうすべきか、市立2病院3診療所のあり方も含め検討しています。

※「類似病院平均値(平均値)」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。